

市政の
?を
問いました



大

綱 質 疑

9月定例会では、5会派が大綱質疑を行いました。



議第1号

問 貸事務所入居者の想定とその募集や決定方法は。また、指定管理者はどのように決定しているのか。

答 デザイナー、クリエイター、芸術大学等若手人材の誘致を広報紙、ホームページにより行う。指定管理者は、実績のある世田谷ものづくり学校を想定している。

問 貸事務所の入居対象者のデザイナー等とは、具体的にどのような方々か？

答 また、市内のものづくり企業と入居者とは、どのように連携していくのか？

答 狭義の意味のみでなく、生活、ライフスタイルまでを扱う広義の意味でのデザイナー、クリエイターを含め、さまざまな分野で自分のブランドをつくる創作活動をされている皆さんを考えている。そのような方々とワークショップやイベントの開催で連携していく。

問 (株)世田谷ものづくり学校を指定管理者に予定していると表明した。計画段階から想定していたのか。

答 ものづくり拠点施設検討委員会が開催当初から有力な候補として想定していた。

問 三条市ものづくり拠点施設の共用事務所の活用方法は。

答 1階には地域コミュニティ、高齢者生きがい活動支援事業、男女共同参画支援センターの3団体。2階には三条保護司会、三条地域若者サポートステーションの2団体。複数団体が一つの部屋を使用することで、施設の有効利用ができると考える。



ものづくり拠点施設予定

議第2号

問 地域交流センターの四日町交流センターの機能をものづくり拠点施設に移転することから当該施設の項を条例から削る内容。しかし、名称変更と位置の変更にとどめ、条例に残す方法もあるのではないかと。

答 今までの事業は、ものづくり拠点施設で継続する。条例から実施要綱に改定するもの。

議第5号

問 ものづくり拠点施設内に設置予定の男女共同参画センター集会所の使用料が他の入居予定施設と違うが、その理由は何か？

答 3団体で共用することと現在のセンターの料金の状況、以上2点が理由である。

問 滞納整理室を設置し、徴収体制の強化を図っている。市民税の収納率は94%となった。

答 国民健康保険事業の財政見通しはどうか？

答 平成25年度末の実質赤字額は4億5231万円となる見込み。平成28年度まで毎年度激変緩和措置を講じた税率の見直しにより、赤字解消を図る。

問 平成25年4月から公共施設の使用料等の減免規定が見直された。見込みで約1500万円の増額と聞いていたが結果は。

答 使用料、利用料を合わせた金額で約800万円の増だった。

問 三条マルシェによって商店のにぎわいにどのような影響を与えているのか。

答 マルシェと創業塾や新規出店サポート事業などの各事業により、中心市街地に新規出店が増え、商店街の魅力やにぎわいが増している。

問 東日本大震災被災者支援費はどのように活用されているのか。

答 現在147名が市内に避難。交流ルームの自主運営の支援、情報誌の作成、自宅への一時帰宅支援を行った。

議第6号

問 青少年育成センター移転後の現在の建物と跡地の活用はどうするのか。

答 児童生徒を対象とした適応指導教室は、施設を継続使用する。

問 青少年育成センター移転後の残る機能はどうなるのか？

答 適応指導教室「ふれあいルーム」は、その名称のまま継続使用していく。

議第8号

問 減災の見直しはどうか？

答 今年7月9日の豪雨はピークの時間雨量が約48ミリであったが、湛水深等は低減できる。

問 条南小学校跡地に調整池ができることにより、この地域の内水対策は大幅に改善されるとのことだが、調整池の機能をさらに高めるため現在の輪之内ポンプ場を調整池に近接させることを考えられないか。

答 条南小学校跡地整備における調整池は、輪之内排水区域の湛水被害を軽減するためのものであり、輪之内ポンプ場を含めた整備計画である。今後、完成した調整池の状況を検証の上、検討してまいりたい。

問 減災の役割を担う調整池は、他に予定しているのか。

答 設置済みは嵐南小学校敷地内に、建設中は旧一ノ木戸小学校跡地に、今後予定しているのは旧条南小学校と旧第一中学校、旧四日町小学校の各跡地、そして直江町三丁目地内と須頃郷地区に計画をしている。

議第9号

問 新保裏線信越本線のアンダー工区部分は、止水のため仮設工事がなかったことにより4億710万円の減額となったものであるならば、工期の短縮も可能と

議第10号

問 寄付に応じた返礼品を贈るふるさと三条応援寄附金は、どのくらいを見込んでいるのか。

答 目標を1カ月300件としている。

問 ものづくり拠点施設の改装費4億500万円は、第二中学校体育館の約4億5000万円、裏館小学校体育館の約5億円と比較して高いのでは。

答 浄化槽や老朽化した給排水管の入れ替えなどに約50%。耐震補強工事、その他に30%程度を見込んで

認定第1号

問 収納率向上の取り組みはどのようになっているのか。